

八峰コミスク通信

地域と学校の連携・協働
地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

峰浜小学校

人権の花苗植栽（六月六日）

全校児童が参加して、花の苗植えを行いました。五人の人権擁護委員の皆さんと、キャラクターの人権マモデル君が活動に参加してくださいました。



代表児童が、「一人一人の心に、思いやりの花を咲かせましょう。」と、あいさつをした後、縦割り班に分かれて活動を始めました。上級生が下級生の面倒を見ながら、マリーゴールドとペゴニアの苗をプランターに植えました。全部で四十八個のプランターが玄関前に並びました。

四年生 カミツレ摘み取り体験（六月七日）

ふれあい農園カミツレ畑で、摘み取りの体験をしました。農林水産課の門脇さんをはじめ、五人の大人の方がお手伝いをしてくださいました。摘み取る花の選び方や摘み取り方を教えてもらった後、一面に白い花を咲かせた畑に入り、中心が大きく育ち、花びらが下に向いた花を選んで、熱心に摘み取りました。三十分ほどの摘み取りで、一キログラム程の花を収穫できました。摘み取った花



令和6年度
第5号
R6/6/27
CSディレクター
三浦

は、乾燥させた後、龍角散のハーブとして使われるそうです。花を乾燥する温室を見学した後、屋内に移動し、八峰町の生薬栽培について学習しました。

二年生 サイモ種まき（六育占）

学校近くの畑で行いました。祖父母の皆さん七名が、活動に参加してくださいました。



苗の植え方を教えてもらった後、一年生と二年生に分かれて、祖父母の皆さんに手伝ってもらいながら、一人三本ずつの苗を畑に植えました。秋には、峰浜ポコ子ども園の園児と一緒に芋掘りを行い、収穫したいものは、ふるさと学習デーで、家族の方と一緒に調理する予定です。

二年生 ヒマワリの種まき（六月十一日）



国道沿いのヒマワリ園で種まきを行いました。地域で農村環境の向上活動をしている水沢保全会の皆さん九名が、一緒に活動してくださいました。保全会では、平成十九年からヒマワリを咲かせる活動を行っており、今年も、十五アールほどのヒマワリ園に、約六千本のヒマワリの花を咲かせる予定です。会長の福司さんの激励のあいさつの後、二年生はペアになり、保全会の人たちと一緒に広いヒマワリ園に種をまきました。

夏休み中には、一面に咲いたヒマワリの花の鑑賞会を行う計画をしているそうです。



八森小学校

春のマラソン大会（六月十二日）

五月下旬から、体育の時間や、すくすくタイムを利用して業間マラソンで、練習を積んできた成果を発揮しようとして、全校児童が全力で競うと、全校児童が全力で競技に参加しました。

学年ごとに走る距離は違いますが、それぞれが自分の目標を達成しようとして一生懸命走る姿に、参観にみえた皆さんの保護者の皆さんや地域の皆さんから、声援や大きな拍手が送られました。閉会式では、各学年の一位の児童に、校長先生からメダルが授与されました。



八峰中学校

夏季総体激励会（六月十四日）

体育館には、たくさんの保護者の皆さんや地域の皆さんが、参観と激励に訪れました。峰浜ポコ子ども園の年長園児の皆さんが訪れ、中学生と一緒に選手を激励しました。

各部の選手が、大会への決意表明を述べ、文芸部からは、激励の大きなポスターと千羽鶴が紹介された他、手作りのキーホルダーとストラップが各部の選手にプレゼントされました。

応援団幹部のリードで、お互いにエールを送り合い、全校生徒で円陣を組んで大会への士気を高めました。

